**執筆要項**

# 論文のテーマ

保険･年金の経済分析，保険・年金の数理，リスク理論とリスク管理などに関するもので，保険ファイナンスの発展に寄与するもの．また，これらの分野の教育方法の改善に関する論文．未公刊のものに限る．

# 論文のカテゴリー

論文カテゴリーは「研究論文 (Paper)」「研究ノート (Letter)」「総合報告（Survey paper）」「研究詳解 (Research Review)」「編集委員会依頼論文 (Invited Paper)」から成る．投稿者は，どのカテゴリーへの投稿かを投稿時に明記すること．なお，編集委員会が論文カテゴリーを変更することがある．各カテゴリーの定義は次の通り．

1. 研究論文 (Paper) : 重要な現実問題に挑戦するもの，新しい定式化や手法を構築するもの，既知の定式化や手法の新しい適用分野を開発するもの，定式化と解析に新しい視点を入れるもの．
2. 研究ノート (Letter) : 短い研究論文．斬新ではないが人々が見落としている事実を指摘するもの，多くの人に忘れられている問題に注意を喚起するもの．
3. 総合報告（Survey paper）: 特定の研究分野のサーベイをおこない，入門的なことや一般的な事実などについて教科書に載せるようなことから，幅広く著者独自の視点でまとめるもの．これを読めば，その分野の概略がわかるように，参考文献も充実しているもの．当該分野の専門外の人向け．
4. 研究詳解 (Research Review) : 新しい研究分野でまだ教科書などにまとまっていない事柄や著者自身の最新の（しかし出版済みの）成果などを交えて，その分野の最新状況をわかりやすく説明したもの．当該分野に興味をもっている研究者向けで，最近の動向を把握する一助となるもの．
5. 編集委員会依頼論文 (Invited Paper)：本誌では、編集委員会が依頼する論文を掲載することがあります。これらの論文は通常の査読プロセスを経ない場合がありますが、編集委員会における内容確認（閲読）を経て掲載されます。

# 執筆要項

詳細に関しては，日本保険・年金リスク学会のホームページに例示し，スタイルファイルも掲載する．（URL: http://www.jarip.org/）

1. A4サイズで50ページ以内（含図表）．本文，注，参考文献は１段組．スタイルファイルに基づき，Microsoft WordまたはLaTeX2εにて原稿を作成してE-mailにて送付する．LaTeX2εの場合は，PDFファイルに変換してからE-mailにて送付する．
2. タイトル，著者氏名，所属名，連絡先（住所およびE-mailアドレス），和文要約400字以内，キーワード５語以内，本文，注，参考文献の順で構成する．
3. 英文タイトル，英文著者氏名，英文所属名，英文連絡先，300語以内の英文サマリーを②とは別に添付．
4. 本文の見出し番号は章に関しては１．，節に関しては１．１のように付ける．つまり  
   1.  
   1.1  
   1.1.1  
   のようにする．
5. 図表・グラフ等は原則として本文中に記載するが，それが数ページに及ぶ場合には，末尾にまとめて記載する．タイトルには，「図1」「表1」のように通し番号をつける．図表は他者の図版を使用する場合は著作権者の了解を得，出典を明示する．表のタイトルはその上部に，図のタイトルはその下部に書く，説明文はいずれも下部に書く．
6. 数式については，できるだけ簡潔な表現を使うこと．変数名は通常，半角イタリックを用いる．番号を付ける場合は，数式の右側に･･･(1)，(1-1)のようにする．
7. 脚注はページごととする．本文中の該当箇所は肩付きの通し番号を付ける．
8. 他の著作物から引用する場合は，本文中または注の該当箇所に著者名(西暦)のようにする．

例１　守田(1973)　　　　　  
例２　Gallo and Lockwood(1995)  
参考文献は，基本的に引用した文献のみで構成する．参考文献リストは，論文末にまとめて掲載する．日本語文献（姓のあいうえお順），外国語文献（Family NameのABC順）にする．著作名，雑誌名は『』，論文名は「」で括る．英数字，括弧( )，コロン（：）は半角文字を使用する．  
例　和文文献の場合

[1] 保険一郎(2004)，「保険業におけるリスク管理」，『保険年金ジャーナル』，

**5**，1，15-25．  
[2] 守田常直(1973)，『保険数学(上)』，生命保険文化研究所．

例　欧米語文献の場合

単行書：著者・編者名(刊行年),　著作名, 発行所（訳書）.

論文：著者名(発行年), "論文名," 雑誌・収録書名, 巻, 号, 頁（訳書）.  
[3] Black, F. and M. Scholes(1973), ”The pricing of options and corporate  
　liabilities,” *Journal of Political Economy*, **81**, 637-659.

[4] Gerber, H. U., W. Neuhaus, and S. H. Cox(1997), *Life Insurance Mathematics*, Spring-Verlag, 3rd Edition.

注意点：

・著者名（複数の場合は第一著者）は「ファミリーネーム，ファーストネームの

イニシャル」の順番で記述する．

・著作名，雑誌名は原則として斜体（イタリック体）で記述する．

例　インターネット上の文献・資料等の場合

著者名(発行年)「タイトル」URL.

1. 文体は口語体の「である調」，文字は新仮名遣い，当用漢字を原則とする．
2. 句読点は「，」と「．」とする（ただし，邦文の場合は全角文字とする）．
3. 英数字は半角文字とする．
4. 半角カタカナや特殊文字の使用は不可．
5. 本文・図表とも著者原稿のまま写真製版する．最終原稿では頁番号を振らずに提出する．

# 選考方法 編集委員会は，投稿論文については査読者の意見に基づき，依頼論文については編集委員会による閲読・承認に基づき，掲載の可否を決定する．著者に補足説明や修正を求めることがある．投稿原稿は返却しない．

# 5　著作権

採録論文の著作権は，日本保険・年金リスク学会に属する．「日本保険・年金リスク学会誌」に掲載されるほか，タイトル，著者名，要約，キーワードはホームページで公開される予定である．また，全文は会員に限り，ホームページでＰＤＦファイルとして閲覧可能とする．著者が自己の著作物を複製，転載，翻訳，翻案等の形で利用することは任意であるが，掲載先に出典を明記すること．

# 6　掲載

任意．査読が完了した順番に，順次発行される号に掲載．

# 7　送付先

日本保険・年金リスク学会「日本保険・年金リスク学会論文誌」論文募集係

メール受付：office@jarip.org